

## 減免規定一覧

## 1 相模原市立新磯ふれあいセンター

	内容	減免割合 (%)
相模原市立ふれあいセンター 条例施行規則第11条第1項	(1) 老人クラブ等が利用するとき。	50
	(2) 身体障害者福祉法第15条第4項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者、児童福祉法第12条第1項に規定する児童相談所若しくは知的障害者福祉法第12条第1項に規定する知的障害者更生相談所において知的障害と判定を受けた者又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第45条第2項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びこれらの介護者が利用するとき（浴室を利用するときに限る。）。	100
	(3) 65歳以上の者が利用するとき（浴室を利用するときに限る。）。	50
	(4) 高齢者福祉を推進することを目的とする公共的団体が、その目的のため利用するとき。	50
	(5) 相模の大風文化の保存、継承を図ることを目的とする公共的団体（市長が適当と認めたものに限る。）が主催する事業のために利用するとき（多目的ホールを利用するときに限る。）。	50
	(6) 指定管理者が相模原市立ふれあいセンター条例第23条の規定により行う同条第6号の事業のため利用するとき。（※）	100
	(7) 指定管理者が特に必要であると認めた場合で、市長の承認を得たとき。	市長の承認を得て指定管理者が定める率

（※）相模原市立ふれあいセンター条例第23条6号

市民の健康の保持及び増進並びに高齢者の福祉の向上を図るための事業の実施に関する業務のうち、市長が別に定めるもの

## 2 相模原市立相模の大風センター

	内容	減免割合 (%)
相模原市立相模の大風センター 条例施行規則第10条第1項	(1) 老人クラブ又は構成員の過半数が65歳以上の者の団体が利用するとき。	50
	(2) 相模の大風文化の保存、継承を図ることを目的とする公共的団体（市長が適当と認めたものに限る。）がその目的のために利用するとき。	50
	(3) 市が主催し、又は共催する相模の大風文化の保存、継承を図るための事業のために利用するとき。	50

	(4) 国又は県が主催する相模の大風文化の保存、継承を図るための事業のために利用するとき。	50
	(5) 指定管理者が相模原市立相模の大風センター条例第22条の規定により行う同条第6号の事業のため利用するとき。(※)	100
	(6) 指定管理者が特に必要があると認め、市長の承認を得たとき。	市長の承認を得て指定管理者が定める率

(※) 相模原市立相模の大風センター条例第22条6号

相模の大風文化の保存、継承を図るための事業の実施に関する業務のうち、市長が別に定めるもの